

2017年11月15日

【格付維持】

紀陽銀行

発行体格付： A－ [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

和歌山県を主要営業地盤とする地域銀行。県内の預貸金シェアは非常に高い。小口先への取り組み強化や効率的な営業態勢の構築などで県内基盤の維持に努めている。和歌山県は貸し出しのマーケットが小さく預貸ギャップが大きいため、取引機会を求めて早くから大阪府へ展開している。大阪府内の貸出金残高は和歌山県を上回るほか、堺市以南の大阪府南部では和歌山県内に準ずる営業基盤を築いている。近年は大阪市周辺へ経営資源を重点的に配分し、貸出金の増加が続いている。

中小企業取引に経営資源を集中し、取引先のメイン化を進めていく方針。ただ、大阪市周辺は特に競争環境が厳しく、取引の深掘りは容易ではない。営業推進部門や案件審査部門などの本部機能を大阪府内にも設置している強みを生かし、中小企業融資を軸に取引の複合化を進められるか見守る。

資産の質は比較的健全。景気後退期にも大阪市周辺の与信先から発生する信用コストを管理可能な水準に抑制できるか注目している。リスク耐久力はAゾーンに見合う。信用リスクの増加は限定的にとどまる見通しであるうえ、過度なリスクテイクを抑制する方針から、市場リスクが今後も拡大する懸念は小さいとR&Iはみている。

収益力は格付対比でやや低い。貸出金利回りは比較的高いが、ストックの約定金利と新規実行金利の乖離が大きく、利回りの低下で貸出金利息収入の減少が続く見通し。そのため、2021年3月期までに約30億円のコスト削減に取り組む方針だ。その進捗や追加的なコスト構造見直しの議論に注目していく。

【格付対象】

発行者：紀陽銀行(証券コード：8370)

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A- (維持)	安定的

名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第3回期限前償還条項付無担保社債(劣後特約付)	100	2013年12月20日	2023年12月20日	BBB+ (維持)

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	阿部 広夢
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	細田 弘

信用格付を付与した日	2017年11月10日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2015.05.01] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017.03.07] 預金取扱金融機関 [2015.12.21] 規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2016.10.20]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_method.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/rating_grant.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 https://www.r-i.co.jp/rating/about/definition.html	
格付関係者	紀陽銀行
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置 情報提供者	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。 格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界 R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。 R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。 利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室 (広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社 格付投資情報センター 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町三丁目2番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html> をご覧ください。